

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第40週の発生動向

### トピックス

#### 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

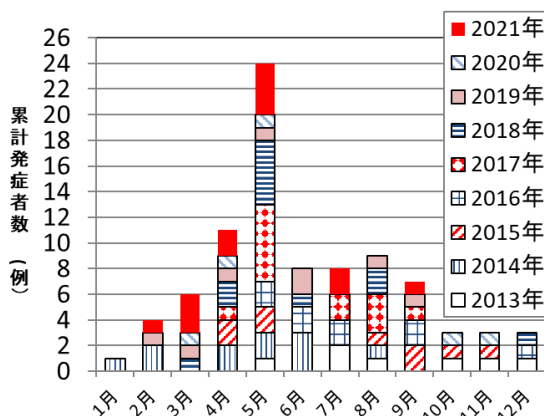
(全数報告の感染症) の報告が延岡保健所管内からあった。患者は80歳代の女性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は、累計87例となった。

#### 県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	20	35	20	5

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が11例あり、2021年の累積報告数は5,256例となった。

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



### 全数報告の感染症 (40週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核5例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱1例。5類感染症：梅毒1例、破傷風1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	結核性胸膜炎	咳、痰、発熱
			80歳代	男	肺結核	咳、痰
			90歳代	男	肺結核	胸痛
		延岡	90歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		日南	30歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
4類	重症熱性血小板減少症候群	延岡	80歳代	女	—	発熱、神経症状、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、肝機能障害
	日本紅斑熱	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、発疹、肝機能異常
5類	梅毒	宮崎市	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
	破傷風	都城	90歳代	女	—	開口障害、嚥下障害、発語障害、強直性痙攣

### 新型コロナウイルス等感染症 (40週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	居住地保健所	報告数	年齢群					症状	
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代		50歳代
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	1例	1					発熱、咳、全身倦怠感、嗅覚・味覚障害、頭痛等	
	延岡	9例		2	3	1	2		1
	日向	1例	1						

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は504人(定点当たり14.4)で、前週比106%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

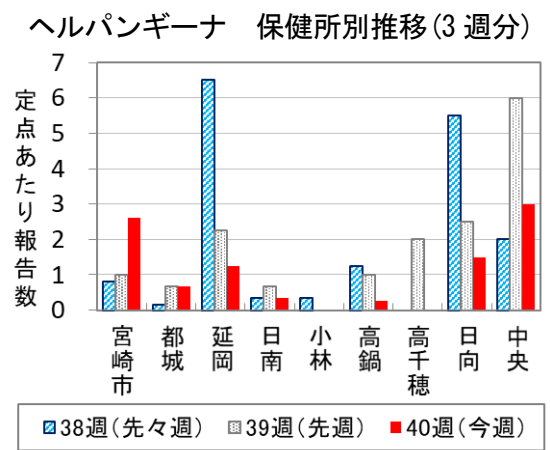
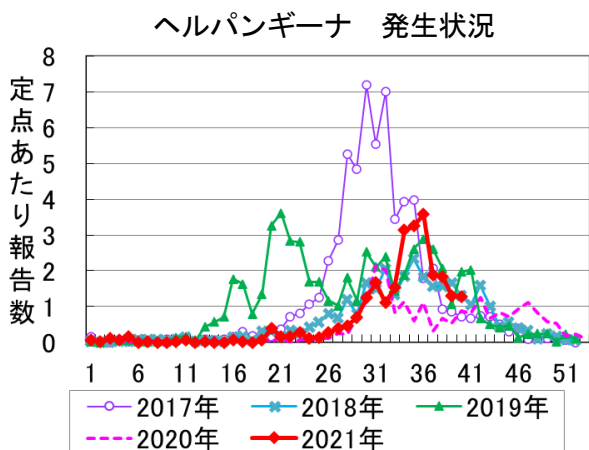
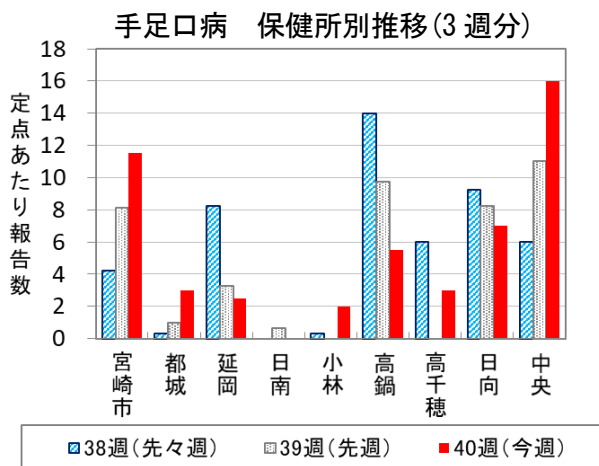
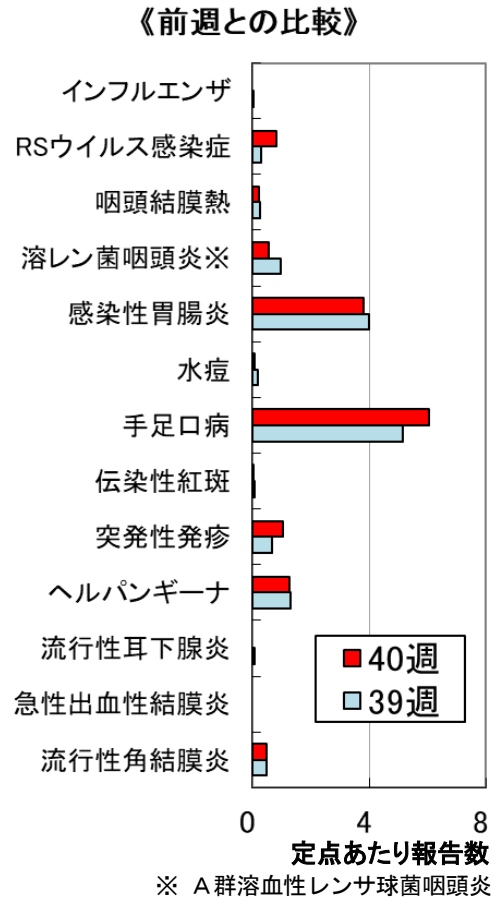
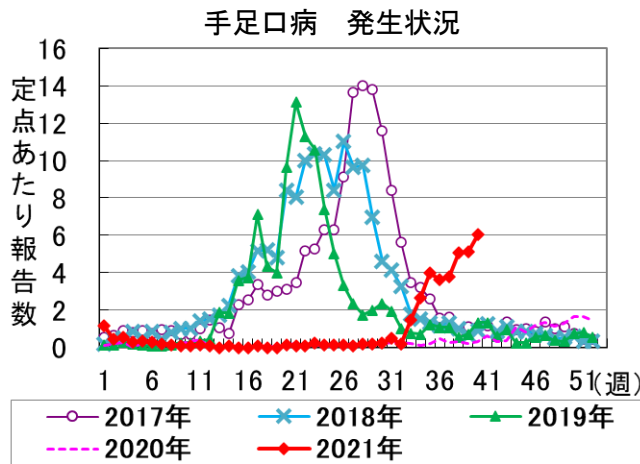
【手足口病】

報告数は218人(6.1)で、前週比118%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(1.4)の約4.2倍であった。中央(16.0)、宮崎市(11.5)、日向(7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から3歳が全体の約9割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は46人(1.3)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値\*(1.1)の約1.2倍であった。中央(3.0)、宮崎市(2.6)、日向(1.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から2歳が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患	
宮崎市	手足口病(11.5)	* 流行警報レベル開始基準値* ・手足口病(5)
都城	なし	
延岡	なし	
日南	なし	
小林	なし	* 流行注意報レベル基準値* ・水痘(1)
高鍋	手足口病(5.5)	
高千穂	なし	
日向	手足口病(7.0)	
中央	手足口病(16.0)、水痘(1.0)	

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年10月11日までに検出）

★細菌 報告なし。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ライノウイルス	0～4歳	男	2021.05.24	急性気管支炎、37.7℃、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2021.10.05
エコーウイルス6型	0～4歳	女	2021.07.01	けいれん重積、髄膜炎、熱性けいれん	便、咽頭ぬぐい液、髄液	2021.10.06

## 🇯🇵 全国 2021 年第 39 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	240 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	65 例				
4類感染症	E 型肝炎	9 例	A 型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	デング熱	1 例	日本紅斑熱	16 例	マラリア	2 例
	ライム病	1 例	レジオネラ症	49 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	34 例
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	16 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	14 例
	水痘（入院例）	7 例	梅毒	124 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	7 例
	風しん	1 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週（祝祭日の休診含む）比 107% と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ及び手足口病で、減少した主な疾患は RS ウイルス感染症であった。

手足口病の報告数は 3,583 人（1.1）で前週比 116% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*（1.3）の約 0.9 倍であった。大分県（10.8）、福岡県（9.0）、佐賀県（5.5）からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 7 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 1,633 人（0.52）で前週比 124% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*（0.67）の約 0.8 倍であった。大分県（3.0）、島根県（2.5）、鳥取県（2.1）からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

## 宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2021年 第40週(10月04日～10月10日)

疾病名		第39週	第40週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1										
	定点当り	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	11	30	4	13	1		7			4	1
	定点当り	0.31	0.83	0.40	2.17	0.25	0.00	2.33	0.00	0.00	1.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	9	8	2	4	1	1					
	定点当り	0.25	0.22	0.20	0.67	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	35	20	3		2	15					
	定点当り	0.97	0.56	0.30	0.00	0.50	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	144	137	25	56	2	11	10	9	4	17	3
	定点当り	4.00	3.81	2.50	9.33	0.50	3.67	3.33	2.25	4.00	4.25	3.00
水痘	報告数	7	3	1		1						1
	定点当り	0.19	0.08	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	185	218	115	18	10		6	22	3	28	16
	定点当り	5.14	6.06	11.50	3.00	2.50	0.00	2.00	5.50	3.00	7.00	16.00
伝染性紅斑	報告数	3	1		1							
	定点当り	0.08	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	25	38	16	5	6	5	2	3		1	
	定点当り	0.69	1.06	1.60	0.83	1.50	1.67	0.67	0.75	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	47	46	26	4	5	1		1		6	3
	定点当り	1.31	1.28	2.60	0.67	1.25	0.33	0.00	0.25	0.00	1.50	3.00
流行性耳下腺炎	報告数	3										
	定点当り	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	3	3								
	定点当り	0.50	0.50	1.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～40週)

2類感染症	結核	103例(5)		
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	19例	
4類感染症	E型肝炎	4例	重症熱性血小板減少症候群	13例(1)
	日本紅斑熱	13例(1)	レジオネラ症	8例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	3例
	クリプトスポリジウム症	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
	水痘(入院例)	4例	梅毒	68例(1)
	破傷風	4例(1)	百日咳	1例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	5256例(11)		

( )内は今週届出分、再掲